

(別紙 12)

大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	横手市役所
実習期間	令和2年3月16日 ~ 令和2年3月19日
学生氏名	高橋 若葉
実習プログラム	<p>○子育て支援課業務・子ども子育て支援事業計画・横手市児童センター・げんキッズよこて(学童保育)・幼児保育係業務・保育環境整備・各種手当・出産祝金・ひとり親家庭の支援・児童虐待対応と相談業務・高齢ふれあい課業務・高齢福祉事業・市の自殺対策事業・介護保険の説明、</p> <p>○横手市児童センター・げんキッズ横手の見学、利用者とのふれあい</p> <p>○映月荘とひらか荘(どちらも養護老人ホーム)への見学</p> <p>○緊急通報事業について住民の方への説明訪問同行</p> <p>○加賀谷様・内桶様とそれぞれ談話</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>ここには書ききれない程の学び・気づきがありましたが、その中の一部をここでご紹介します。横手市児童センターに見学を訪れた際に学んだことは、巣立った卒業生やファミリー・サポートの援助者等、様々な世代の方がここに訪れることで、核家族化が進行している今現在、こういった機会の重要性の高さです。また、私が将来誰かの人生に寄り添って支援するときに、豊かで充実した人生を送ることのできるよう、人との“出逢い”を尊重して支援したいと思うようになりました。長年福祉の現場で働いてこられた方からのケースワークについてのお話からは、2つのアドバイスをいただきまして、支援する際、利用者の自己決定の尊重のため、将来の希望・展望、交友関係を詳しく聞くことと、専門性を意識して側面的支援を心掛けることでした。座学での学びよりも重みがあり、とても印象的でした。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>今回の横手市役所でのインターンシップでは、多くの収穫がありました。自身を見つめ直し、心新たに、大学生活を充実させようという思いにしてくれました。まだ実際に社会人として働いていないにも関わらず、社会人になって働き始めてから学ぶはずだった経験を今回のインターンシップで見聞きできたことは、滅多にないことだと思いました。また今回、現場で必要な力である観察力・説明力が私には不足していることに気づくことができました。福祉の現場で働く際には、部屋の様子や服装等からちょっとした異変に気付くか気付かないかが重要になってくるので、私には足りない観察力を、今から意識して高めていきます。そのために、より多くの人と接する機会を自ら得て、意識して観察することが大事だと考えています。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>横手市役所さんの魅力は、私に接して下さった職員の方々全員が私に対してとても熱心に対応して下さったことから、指導の手厚さだと思います。いくつかの私の疑問に丁寧にお答えいただき、大変勉強になりました。また、私の実習希望を直接お伝えさせていただいたところ、私の身になるよう、実習内容を変更していただいたこと、コロナウイルス流行の危険性のため動きにくい状況下の中、私の実習内容を試行錯誤していただいたこと、大変感謝しております。</p>
<p>写真(1~3点)</p>	

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	横手市役所（スポーツ振興課・観光おもてなし課）
実習期間	令和 2年 2月 7日 令和 2年 2月 14日 ～ 令和 2年 2月 16日
学生氏名	新山 寛太
実習プログラム	<p>・スポーツ振興課</p> <p>横手市スポーツ関連事業の説明、横手市運動施設各所の説明・見学 職場対抗スポーツ大会のスタッフ・運営 『小椋久美子さんによるバドミントン講話・体験教室』のスタッフ （会場設営・受付・片付けなど）</p> <p>・観光おもてなし課</p> <p>地元の小学生とのミニかまくら作り イベント『かまくら in 木戸五郎兵衛村』の準備 『雪の芸術』打ち合わせ・確認 『横手の雪まつり』の準備 母校・横手城南高校にてミニかまくら作りの手伝い ミニかまくら会場の除雪、崩れる可能性のあるかまくらの解体誘導 かまくら、『横手の雪まつり』の準備（会場設営・無料休憩所作り）</p>
学び・気づき （300字程度）	<p>スポーツ振興課では、横手市が『スポーツ市立よこて』のもと各種大会の開催や、補助金による支援、大学の運動部やプロチームと交流するなど手厚い支援や交流人口の拡大を図っていた。さらに今回のバドミントンイベントのように同じ種目のトップ選手と触れ合う機会を設けることで、競技人口を減らさないための取り組みも行っていった。その他にも様々なイベントや行事を通してスポーツによる『元気なまちづくり』と『地域の活性化』を目指していた。</p> <p>観光おもてなし課では、雪まつりを成功させるために多くの方がかまくら作りに従事していた。また、ミニかまくら作りを通して若い世代へ横手のかまくらのような伝統行事を体験してもらい、継承していくことで今後地域の伝統などを若い世代が主体的に担っていくことができると思った。裏方の業務を体験することで、密な連絡による連携や数多くの準備によって多くの人に感動を与えていると感じることができた。</p>
今後に向けた 抱負 （200字程度）	<p>今後、自分も勉強や部活動、また社会に出て仕事をするときには周りとの連携や協力を意識して行動できるようにしていきたい。これを達成するためには積極的なコミュニケーションが必要不可欠であるため、今後は周りとも意識的に会話をしていくことで、集団を引っ張っていくリーダーを担っていくような人材になりたいと考える。これから社会に出ていく中で、周りの人を喜ばせるような裏方の努力や、自分がすべきことに主体的に取り組む姿勢を忘れずに行動していきたい。</p>
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 （300字）	<p>スポーツ振興課と観光おもてなし課の方々には、緊張している自分に対して温かく声をかけてくださったり、次にする行動の指示を出して下さったりしていただいたことでスムーズに業務を行うことができた。バドミントンイベントや雪まつりなどの行事に対し、参加してくれた方々を喜ばせようと課の全員が主体的に行動されている姿がとても印象深かった。自分たちのためではなく、あくまでも参加してくれた市民の方や観光客の方を第一に行動している姿勢が、イベントや地域の伝統行事を守っているのではないかと考えた。裏方の方々の業務に対して主体的に取り組む姿勢や周りとの協調性を大切にしている姿勢にとっても魅力を感じることができた。</p>

写真
(1~3点)



『横手の雪まつり』ミニかまくら in 蛇の崎川原 2/15(土)



『横手の雪まつり』ミニかまくら in 横手南小学校 2/15(土)

どなたも
参加無料 参加自由

小椋久美子さん
バドミントン
講話 2020.2.16日

会場/横手体育館 中体育室 時間/13:00~13:30

タイトル「オリンピックとバドミントン(仮)」 内履き持参

■主催/協力 横手市/横手市バドミントン協会
お問い合わせ先/市スポーツ振興課 横手体育館となり就業改善センター内 ☎0182-35-2173 FAX 0182-32-6120

『元日本代表 小椋久美子さんによるバドミントンイベント』
バドミントン講話・親子体験教室 2/16(日)